

ツル越冬地で利用調整をする理由

世界的なツル越冬地

西日本を中心に各地で越冬していたナベヅル・マナヅルは、明治以降の乱獲や開発により激減しました。戦後の記録ではわずか275羽。その後、出水では長年の保護活動により、24季連続で1万羽を超えるツルが越冬しています。

ツル越冬地の現状と課題

たくさんの野鳥が集まるため感染症による大量死の危険性や、ツルの給餌に集まるツル以外の野鳥による農作物や、養殖海苔への被害が生じています。養鶏の町として、鳥インフルエンザの防疫体制は徹底していますが、ツル越冬地への通行が増えることでリスクが高まります。また、一部の観光客の行動が、農作業や地元住民の生活の妨げになっています。そのような背景から、社会実験として「利用調整」の取り組みが始まりました。



〔利用調整とは〕

ツルと共生した新たな地域づくりを目指して2016年度より、「ツルへの配慮」、「地域住民と来訪者との共生」、「鳥インフルエンザ等感染症の防疫」の観点から、とくに観光目的の来訪者に向けてツル越冬地への入域制限を行い、より積極的な利用のコントロール*を行っています。

*決められた手段(専用車、ミニツアーバス、タクシー、レンタサイクル、自転車、バイク、マイカー、観光バス)・指定ルートでの移動。試行段階のため、将来的に変更の可能性があります。

----- 越冬地環境保全協力金について -----

ツル越冬地の豊かな環境を保全し、持続可能な利用を進め、未来の子どもたちに引き継ぐための協力金です。利用調整エリアへの入域料として任意で納入をお願いします。結果の詳細は出水市HPで公表します。

協力金の使い道

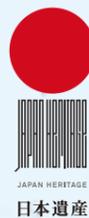
ツル越冬地の環境保全：自然環境の保全や復元
防疫体制の強化：鳥インフルエンザなど感染症の対策として利用調整エリア内での石灰や消毒液の散布強化
ツルの保護管理：ケガや病気をしているツルを保護・収容し、野生へ戻す取組や、野生へ戻せないツルの育成

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

社会実験の結果は、出水市の条例制定を含めた将来的な制度化の検討に活かされます。

市民向け
前夜祭イベント

麓・商店街イベント DENKEN WEEK 2月1日～2月7日



〔場所〕出水麓歴史館周辺
国の重要伝統的建造物群保存地区で、日本遺産にも認定された「出水麓」と芸術、食、音楽がコラボレーションされたイベント



内容は変更になる場合があります。
詳細は後日出水ナビで案内予定です。



ラムサール条約登録に向けた ワイズユースを考えるシンポジウム

2021年1月29日(金) 18:00～20:00
市役所本庁舎4階 大会議室

申込
不要

講演I 「人とトキが共に生きる島」
佐渡市 渡辺 竜五 市長

講演II 「ツルを通じた地域づくりの取組」
四万十つるの里づくりの会
佐伯 達雄 会長

地域の小学生からの発表もあります

*内容は変更になる場合があります

主催：出水市

お問い合わせ

出水市ラムサール推進室 0996-63-8915 環境省出水自然保護官事務所 0996-63-8977
ツルフェスタ開催中の土日専用番号 080-8498-7162



ツル越冬地利用調整実証実験のため

1月23日(土)～2月7日(日)は利用調整エリアへの入域制限をします

期間中は「越冬地環境保全協力金」のお支払いにご協力ください

[共催] 環境省九州地方環境事務所・出水市
[協賛] 赤鷲 まつま 鹿児島トヨタ Kowa 興和光学株式会社 マルイ農業協同組合

[後援] 出水干拓東土地改良区・(一社)出水市観光協会・出水商工会議所・出水平野土地改良区・鹿児島いづみ農業協同組合
北さつま漁業協同組合・高尾野内水面漁業協同組合・鶴の町商工会



シベリアから何千キロの旅をするツルがくつろいで冬を過ごす、出水のツル越冬地。今年ツルへの親しみを深めるとともに、農水産業や観光との両立に向け、利用調整エリアへの「入域制限」と任意の「越冬地環境保全協力金」のお支払いをお願いする社会実験を行います。

利用調整エリア

期間中、利用調整エリアへの入域は★の地点からのみ可能です。利用調整エリア内は、終日入域が制限されます。
★の地点は、Google マップ「荒崎の田の神」で検索できます

鶴の来る町ミュージアム 鶴荘学園
「荒崎入口交差点」から入る

入域証で入館無料

ツル観察センター

八代海を臨む大パノラマが楽しめる展望スポットで、ツル越冬地の広さを実感。早朝・夕方に屋上から見る、ツルの飛び立ちやねぐら入りは、出水ならではの圧巻の景色です！
開館 6:30～18:30 (1/23～2/7のみ延長)
1/30・31、2/6・7は、おいしい食べ物の特別出店も！
出水市庄2478-4 Tel.0996-85-5151



入域証で入館無料

クレインパークいずみ

日本唯一のツル専門の博物館。詳しいツルの解説や、取り巻く状況が、時代の変遷とともによくわかります。屋外の遊具や広場でも、のんびり過ごせます。
1/30・31、2/6・7市内飲食店のテイクアウトや、出水の特産品・土産物が出店！
ツル観察センターから車で20分
出水市文化町1000 Tel.0996-63-8915



出水駅

利用調整エリアへの入り方

STEP 1

上の地図の★の場所で協力金を支払う

協力金*をお支払いいただいた方に入域証をお渡しします。「入域証」は、ツル観察センター、クレインパークいずみへの入館が無料のほか、専用車、ミニバスツアーが利用できます。ぜひご協力ください。
*協力金は、ツル越冬地の環境保全、防疫体制の強化、ツルの保護管理のために活用されます。お支払いは任意となります。

協力金 料金

小中学生半額
未就学児無料

1日 500円/1人

ツル観察センターに駐車の上、専用車への乗り換えや、ミニバスツアーにご参加いただけます。

マイカー 1日 1,000円/1人

利用調整エリア内の指定ルートを、マイカーで移動できます。

期間内全日 3,000円/1人

1月23日～2月7日までの全日、上記の内容をすべてご利用いただけます。*市内居住者は半額

*日本遺産出水麓歴史探訪チケット(出水麓歴史館、税所邸、竹添邸の入館可)を割引料金300円で別途販売します

STEP 2

ツル観察センターでレクチャーを受ける

ツル越冬地のルールなど、レクチャーを受けることで利用調整エリアへ入れます。6:30～18:30(15分間隔で開催)、各回約10分・定員15名。

STEP 3

専用車やミニバスツアーを利用する

入域証の提示で、専用車やミニバスツアーに乗車できます。できる限りご利用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

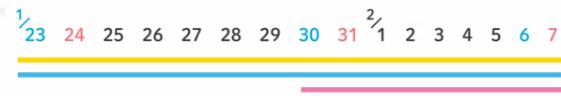
専用車・ミニバスツアー利用特典



先着で特産品プレゼント!

KOWA双眼鏡の無料貸出しも!

スケジュール



● 利用調整期間 ● PriusPHV ● グリーンスローモビリティ ● ミニバスツアー、ツル観察センター・クレインパークいずみでの出店

環境にやさしい! 専用車



PRIUS PHV

鹿児島トヨタ特別協賛
充電式ハイブリッドカーレンタル
貸出: 5台(定員5名)

1/23～2/7の16日間



グリーンスローモビリティレンタル
貸出: 4台(定員4名または7名)

1/30～2/7の9日間限定

受付

ツル観察センター本部 9:30～16:00

[貸し出し時間] 60分 要普通自動車免許

*貸出時にオリエンテーションがあります。ガイドの同乗・運転代行はありません。

地元ガイドの! ミニバスツアー

1/30・31、2/6・7の4日限定



ツルを見るだけじゃない
思わず誰かに伝えたいくなる
マメ知識満載の3コース



珍しい鳥も見れるかも。
鳥の専門家とご一緒に。



昔の越冬地は
どんな場所だったの?



海苔や養鶏、農産物。
ツルとのつながりは?

受付

ツル観察センター本部 9:30～15:30 30分間隔

[所要時間] 40分 [定員] 各回 10名

最終便は15:30発、16:10頃帰着予定です
コース別の運行時間はツル観察センター本部でご確認ください